

退職記念号発刊にあたって

大阪経済大学情報社会学部長 藤 本 寿 良

2017年3月末をもって、大阪経済大学情報社会学部教授である家本 修先生がご退職されることになりました。大阪経大学会では、『大阪経大論集』第67巻第5号（情報社会学部特集号）を「家本 修先生ご退職記念号」としてここに発刊し、先生の長年にわたる本学への御貢献に敬意を表するものです。

家本先生は、1949年12月大阪府にお生まれになり、1974年3月に近畿大学理工学部建築学科をご卒業後、近畿大学大学院へ進学され、修士課程終了後、1978年4月に大阪大学大学院工学研究科後期博士課程に進学され、1986年3月に単位満了退学されました。1996年3月には、大阪大学より博士（工学）の学位を授与されました。本学着任までに、梅花短期大学専任講師、助教を歴任され、1994年4月に大阪経済大学経営学部経営情報学科助教授として着任されました。その後、大阪経済大学経営情報学部教授、同情報社会学部教授ならびに大学院経営情報研究科教授として、23年にわたり、本学の教育・研究において多大な貢献をされてきました。学内行政では、1997年5月から1999年4月まで情報処理センター長、2005年5月から2007年4月まで学生部長代行、2011年4月から2012年3月まで経営情報学部長、2012年4月から2013年3月まで情報社会学部長を務められました。

研究面においては、先生の研究分野は教育工学であり、研究内容については教育工学をはじめ、認知科学、環境心理学と幅広い分野が研究対象となっています。その関係で、APS (American Psychological Society)、STD (Society for Text and Discourse) といった国際学会を始め、ゲーム学会、次世代大学教育研究会、教育システム情報学会に所属し、そのいくつかにおいて副会長、理事、事務局長などを務められました。1998年には、その研究成果の1つについて、日本繊維機械学会賞学術奨励賞を受賞されています。先生の広範囲にわたる研究成果は、その著書、論文、寄稿、報告書、学会報告などを通じて発表されており、学会や研究会において広く知られています。

家本 修先生は、2017年3月をもって退職されますが、退職後も、次世代大学教育を中心に多方面でご活躍される模様であり、また本学にも非常勤講師として来校される予定です。ご健康に気を付けていただき、今後の研究のますますのご発展と、教育面でのご貢献とご指導を期待いたしまして、この退職記念号を献呈させていただきます。